

平成30年度 ゼミ学生等地域貢献推進事業 地域課題のタイトル

課題提出者	地域課題(指定課題＝自由課題よりも優先して採択されます)
富士市	富士地域における紙加工品製造業の新たな事業創造に向けた調査研究
富士市	個別処理区域における水路、中小河川の現状把握と市民満足度指標の提言
富士市	小中学生栄養調査データ(BDHQ)分析による地域栄養診断と改善策の提言
富士宮市	アニメと連携したシティセールスの方策の研究
島田市	社会的・地域的課題への対応策として、文化芸術を活用した島田ならではの具体的取組事例の提案
島田市	特定健診受診率向上のための課題と施策について
袋井市	ラグビーワールドカップ開催に向けた機運醸成とラグビーを活かしたスポーツ振興
袋井市	「袋井のお茶」に関したお土産の商品展開および販売促進
袋井市	市民マラソン大会の活性化
静岡市	JR草薙駅南ログランドデザインの実現に向けたバス交通の提案について
静岡市	徘徊認知症高齢者搜索模擬訓練(モデル)の効果検証
静岡市	地域デザイン手法を活用した静岡市における安全・安心なまちづくりの研究 ～学・官・民 連携した耐震化対策事業の推進手法の構築～
静岡県	県内における女性の子育て世代の離職要因分析とその課題解決のための提案
静岡県	プロジェクト「TOUKAI-O」における耐震化を促進するための方策の研究
裾野市	VRを活用した深良用水隧道調査と文化・観光振興
小山町	金太郎を活用した町の宣伝方法について
三島市	学校・家庭・地域連携協力推進事業への大学生参画の促進について
三島市	学生の地域内定着促進に向けた三島市版若者地域就職活動モデルの確立
掛川市	掛川市の三城にまつわる小中学生向け歴史講座の開講
掛川市	掛川手織葛布の継承に向けた若者からの提言
伊豆市	“伊豆市の玄関口”にふさわしい修善寺駅の景観をプロデュース
伊豆市	伊豆市の観光市場調査(マーケティング調査)
伊豆市	遊休施設(天城会館)の地域活性化につながる有効活用リサーチ
伊豆の国市	伊豆長岡温泉の再生に向けた地域資源調査
藤枝市	蓮華寺池公園からの旧東海道商店街への誘客促進
藤枝市	大規模造成住宅団地における空き家の活用方法の提案
藤枝市	高齢者の運転免許証自主返納の推進と返納後の交通手段について
川根本町	地域食材による食、土産品で町の魅力を創造する
沼津市	若年層におけるアジのひもの消費拡大に向けたメニューの提案と活用法
沼津市	沼津市内における中小企業のインターンシップ実施の実態に関する調査研究
沼津市	大学生と創る 若者に子宮頸がん検診を受けてもらうための効果的な方策についての研究
浜松市	浜松市天竜区佐久間町における地域づくりの方策の研究

課題提出者	地域課題(自由課題)
富士市	リノベーションによる特色や魅力ある「まちなか」のエリアマネジメントに向けて ～地域が求める商店街とは～
富士市	道の駅富士の活性化策
富士市	講座を通じた青少年の社会参画への仕組み作り
沼津市	物産振興イベントのブランド化と地域への波及効果の分析
(株)クレディセゾン 東海支社	東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン推進に向けた課題を調査研究
(株)クレディセゾン 東海支社	地元の若者のアイデアを事業として創業支援する活動の提案
(株)クレディセゾン 東海支社	浜松市・磐田市における消費動向の調査とキャッシュレス社会に向けた若年層への提言

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	富士市		優先順位	1
課題タイトル	富士地域における紙加工品製造業の新たな事業創造に向けた調査研究			

課題の概要(背景や理由等)	富士地域の活力を維持・向上させるためには、成長発展の根幹を担ってきた「ものづくり産業」が地域で持続的に発展し続けることが極めて重要である。とりわけ、少子高齢化、技術革新、グローバル化などさまざまな環境変化に直面するなか、事業所、従業員数、出荷額で最大のシェアを占めるパルプ・紙・紙加工品製造業が経営基盤を強化することが求められている。
希望する調査研究内容や期待すること	意欲あるモデル企業を選定し、経営革新、販路の開拓、人材育成等今後の事業展開のあり方を当該モデル企業とゼミ学生との協働プロジェクトにより検討し、成果をとりまとめる。 具体的には、ゼミ学生が主体的に、当該企業をめぐる経営情報の収集、調査、分析を行い、グループディスカッションにより、ビジネスモデルの提案を行う。 課題を明確にし、できるだけ現実的な成果に接近するため、既存統計や企業情報の分析を行い、適宜企業及びパートナー(ステークホルダー)・市の政策担当者等からのレクチャーやインタビュー、フィールド調査を実施する。 製造業における経営基盤強化は、これまで理系大学との協働が中心であったが、本調査研究は、文系分野の新たな協働のあり方として他の関連企業にも参考になることが期待できる。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	富士市産業支援センター(f-Biz)、富士市産業政策課、富士商工会議所等
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	成果報告会の開催会場の貸与、政策担当者による情報提供、マスコミ等情報発信

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	常葉大学	学部等	経営学部
ゼミ・団体名 (担当教員)	准教授 小豆川裕子 〈博士(学術)〉	連絡先 E-mail	shozugaway@fj.tokoha-u.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	産業経済部 産業政策課 工業振興担当
電話番号	0545-55-2779
E-mail	shinohara_masashi@sa.city.fuji.shizuoka.jp
29年度担当者	篠原 麻左志

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	富士市		優先順位	2
課題タイトル	個別処理区域における水路、中小河川の現状把握と市民満足度指標の提言			

課題の概要(背景や理由等)	市内の河川等の水質(BOD)については、環境基準点では環境基準値をクリアしている。 しかし、市民の生活に身近な水路、中小河川等に対する水質(見た目)、臭い等の苦情は多くある。 このため、今後、市として個別処理整備(浄化槽)を推進して行く上で、水路、中小河川等の水質の現状把握及び発生源の影響等を調査し、市民満足度を検証するための指標を作成する必要がある。
希望する調査研究内容や期待すること	市内水路、中小河川から調査箇所を数箇所選定し、年間を通した水質データ(BOD)の収集を行い現状を把握する。その調査箇所の発生源の汚濁総量を市のデータから分析・解析し、水質データとの相関を掴む。これらのデータから公共下水道や浄化槽整備による水質改善効果の検証が可能となる。 【水質調査】毎月市が提供する6箇所程度のサンプル(水)を分析(BOD等)する。 【汚濁総量】市が提供するデータから流域別の汚濁総量を計算する。 【指標検討】水質調査結果、汚濁総量結果等から相関関係、水質改善効果等の検証と指標を提言する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・調査対象箇所のサンプリング ・流域の発生源基礎データ提供(住宅戸数、生活排水処理形態別戸数など) ・まちづくりセンター、市役所等の会議室の確保

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	常葉大学	学部等	社会環境学部
ゼミ・団体名(担当教員)	小川 浩 教授	連絡先 E-mail	ogawah@fi.tokoha-u.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	上下水道部生活排水対策課
電話番号	0545-55-2853
E-mail	seikatuhaisui@div.city.fuji.shizuoka.jp
29年度担当者	石川 浩之

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	富士市		優先順位	3
課題タイトル	小中学生栄養調査データ(BDHQ)分析による地域栄養診断と改善策の提言			

課題の概要(背景や理由等)	近年、子どもの食をめぐるのは、発育・発達の重要な時期にありながら、エネルギーや食塩等の過剰摂取や野菜の摂取不足等の栄養の偏り、朝食の欠食等の食習慣の乱れ、痩せや肥満の増加など、問題は多様化、深刻化し、生涯にわたる健康への影響が懸念されている。このような状況に対応し、市全域で食生活改善に取り組むために、データ分析により、地域の詳細な現状や特性を把握し、有効な改善策を打ち出す必要がある。
希望する調査研究内容や期待すること	平成22年以降、市で実施しているBDHQ(簡易型自記式食事歴法質問票)を用いた小中学生栄養調査のデータ(中学生約2500件・小学生約1000件)を解析することで、市内小中学生の食生活及び栄養摂取状況を明らかにし、課題と対策について提言すること。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	富士市PTA連絡協議会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	関連団体の紹介

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	保健医療課 食育推進室
電話番号	0545-55-2884
E-mail	ho-iryou@div.city.fuji.shizuoka.jp
29年度担当者	岩間美和子

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	富士宮市		優先順位	1
課題タイトル	アニメと連携したシティセールスの方策の研究			

課題の概要(背景や理由等)	富士宮市では、平成29年度から首都圏向けのシティセールスを展開しており、平成30年度は、市内北部に位置する朝霧高原の魅力発信を展開していく予定である。 その中で、本年1月から放送されている「ゆるキャン△」というアニメにおいて、朝霧高原にあるキャンプ場などが登場し、作品を盛り上げている。 市では、アニメとの連携を一つの手法として、朝霧高原を含む富士宮市の魅力を発信していきたいと考えている。
希望する調査研究内容や期待すること	アニメを活用した朝霧高原、富士宮市の魅力を発信していく手法について、若者目線での提案を期待する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	富士宮市 関係各課 富士宮市観光協会 など
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	所有施設の無償使用(会議室など) 上記団体等への紹介

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	企画戦略課 地域政策推進室
電話番号	0544-22-1215
E-mail	kikaku@city.fujinomiya.lg.jp
29年度担当者	杉村 浩之

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	島田市		優先順位	
課題タイトル	社会的・地域的課題への対応策として、文化芸術を活用した島田ならではの具体的取組事例の提案			

課題の概要(背景や理由等)	文化芸術は、人々の心にゆとりと潤いを与え、豊かな生活を送るために必要な要素であるとともに、人々の交流や相互理解を促進し、人々をつなぐ上で重要な役割を果たしている。こうした文化芸術がもつ特性を活かし、社会的・地域的課題に対応する独創的な取組を、今後当市において進めていきたい。
希望する調査内容や期待すること	島田ならではの地域資源(潜在的なものを中心に)をモチーフとした実行性のある取組事例の提示を希望する。これについては、平成30年度から策定作業の開始が予定されている島田市文化芸術推進計画(仮称)へ、その成果と展望を具体的な事例として搭載していくことを想定している。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	適宜
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	会議室の貸与、関連団体の紹介等

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	教育委員会文化課文化振興係
電話番号	0547-36-7966
E-mail	eiichi1_shinma@city.shimada.lg.jp
29年度担当者	新聞

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	島田市		優先順位	
課題タイトル	特定健診受診率向上のための課題と施策について			

課題の概要(背景や理由等)	特定健診の受診率は伸び悩んでいる。国が掲げる目標は60%であり、現状の36.7%と大きくかけ離れている。解決方法を探っていきたい。
希望する調査研究内容や期待すること	健診未受診者の意識を分析し、受診率向上となる施策の提起を期待する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	静岡県国民健康保険団体連合会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	国保年金課 保健事業係
電話番号	0547-34-3295
E-mail	koku-nen@city.shimada.lg.jp
29年度担当者	栗田

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	袋井市		優先順位	1
課題タイトル	ラグビーワールドカップ開催に向けた機運醸成とラグビーを活かしたスポーツ振興			

課題の概要(背景や理由等)	・ラグビーワールドカップ2015の開催直後に比べ、トップリーグへの観客動員が伸びていない。 ・何度も観戦に訪れるコアなファンもいるが、新たな客層、特に若年層を獲得できていない現状である。 ・2019年のラグビーワールドカップ開催に向けて、より一層、機運を醸成していく必要がある。
希望する調査研究内容や期待すること	・新たなラグビーファン層を獲得するための効果的なプロモーション戦略
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・ヤマハ発動機ラグビー部 ・静岡県ラグビーフットボール協会 ・静岡県ラグビーワールドカップ2019推進課
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・関係機関の紹介 ・会場(会議、イベント)の調整

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	スポーツ推課 ラグビー開催準備室
電話番号	0538-44-3139
E-mail	sports@city.fukuroi.shizuoka.jp
29年度担当者	辻本潤

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	袋井市		優先順位	2
課題タイトル	「袋井のお茶」に関するお土産の商品展開および販売促進			

課題の概要(背景や理由等)	2019年には静岡デスティネーションキャンペーン(DC)、袋井市でラグビーワールドカップの開催、2020年には、東京オリンピック・パラリンピックの開催が予定されている。DCについて、中東遠地域は「お茶めぐりツアー」をテーマとして掲げている。このように、大きなイベントの開催予定がある中、この機をとらえ、広く袋井をPRすべく、「お茶」という素材を使用した商品展開及び販売促進方法について提案いただきたい。
希望する調査研究内容や期待すること	①若者や女性を惹く、「袋井」をPRする商品開発と効果的な販売促進方法 ②少なくともひとつは、「ラグビーワールドカップ」を絡めた商品を考えている
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・袋井市役所職員(農政課など) ・必要に応じて、農業協同組合職員、中遠農林事務所職員、商品作成業者など
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・会議室の貸与 ・関連団体の紹介 ・助言等 その他、可能な限り必要とする支援を行います。

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	袋井市産業環境部農政課農業振興係
電話番号	0538-44-3133
E-mail	nousei@city.fukuroi.shizuoka.jp
29年度担当者	篠田 奈津美

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	袋井市		優先順位	3
課題タイトル	市民マラソン大会の活性化			

課題の概要(背景や理由等)	袋井市の市民マラソン大会として毎年12月に開催されている「クラウンメロンマラソン」は、2018年に第30回を迎える。 近年参加者は横ばいとなっており、参加者増に向けた検討をしている。また、大会開催に伴う交通規制について、迂回路に人員を配置して案内しているが、地元住民や通行者に対して効率的かつ効果的な周知手段を検討している。
希望する調査研究内容や期待すること	・参加者増へのアイデア ・交通規制を盛り込んで迂回路を案内できるアプリの開発
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・袋井市スポーツ推進課 ・一般社団法人 袋井市スポーツ協会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	スポーツ推進課 スポーツ振興係
電話番号	0538-44-3129
E-mail	sports@city.fukuroi.shizuoka.jp
29年度担当者	鈴木恵美子

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	静岡市		優先順位	1
課題タイトル	JR草薙駅南口グランドデザインの実現に向けたバス交通の提案について			
課題の概要(背景や理由等)	”産学民官連携組織”「草薙駅周辺まちづくり検討会議」において策定された「草薙駅周辺まちづくりビジョン【H27/1】」の実現に向けて、「JR草薙駅南口グランドデザイン研究会」を発足【H29/10】させて、南口の将来計画「JR草薙駅南口グランドデザイン」の策定に向けた検討を進めている。 過年度の取組として、28年度は、岸研究室と連携し、地域住民の思い描く地区の将来像や公共交通の利便性について、アンケート調査分析を、また、29年度は、これら分析を基に、各世代ごとのバス交通に対する利用意欲等アンケート調査分析を行い、南口グランドデザインの策定を行っている。 30年度は、29年度に策定したGDの実現に向けての取り組みを推進していく。			
希望する調査研究内容や期待すること	①住民意向ヒアリング調査の実施について ・南口GDで提案されたバス交通の実現に向けて、利用者である地元住民へのアンケートヒアリング調査の実施や分析等を行い、研究会や市と連携し、検討を行うこと。 ②草薙駅南口(県大・美術館口)地区にマッチしたバス交通先進地事例の収集について ・南口既存路線の再編やコミュニティバス、デマンドバス交通等研究会で検討がされている中で、本地区にマッチした事例収集等を行うこと。			
情報収集や意見交換等で連携する団体等	<u>草薙駅周辺まちづくり検討会議</u> (構成メンバー: 金融機関・商店会・再開発管理組合・静岡鉄道・有度地区連合自治会・静岡市・県立美術館・静岡県立大学・静岡サレジオ・清水有度第2小学校・常葉大学) <u>JR草薙駅南口グランドデザイン研究会</u> (構成メンバー: 南口地区周辺自治会・静岡市・静岡県立大学・商店会) <u>静岡市</u> エリアマネジメント担当課: 清水駅周辺整備課 地域公共交通担当課: 交通政策課			
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・検討会議及び研究会の開催については、地域の自治会館や民間施設の利用が可能である。 ・また、草薙地区の各種団体等への紹介等について、適宜対応可能である。			

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	静岡県立大学	学部等	経営情報学部
ゼミ・団体名 (担当教員)	岸 准教授	連絡先 E-mail	kishi@u-shizuoka-ken.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	静岡市 都市局 都市計画部 清水駅周辺整備課 駅周辺計画係
電話番号	054-354-2018
E-mail	toriizuka_bz@city.shizuoka.lg.jp
29年度担当者	鳥居塚 安伸

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	静岡市		優先順位	2
課題タイトル	徘徊認知症高齢者搜索模擬訓練(モデル)の効果検証			

課題の概要(背景や理由等)	高齢化が進展する中で、認知症高齢者の増加も一途となり、認知症対策は喫緊の課題である。認知症は自覚症状がなく、徘徊して、道に迷い、自宅に帰れなくなることもある。認知症の予防とともに、たとえ認知症になっても安心して暮らせるように地域全体が協力しあうことが必要であり、認知症により行方不明となってもできるだけ早く安全に保護できるような地域づくりを目指したい。
希望する調査研究内容や期待すること	小学校区程度のモデル地区3か所で、地域住民や自治会、介護事業者等が参画し、情報伝達訓練及び徘徊役になった人を発見し、自宅に帰れるような声かけをするなど、搜索から発見・保護するまでの一連の流れをモデル的に実施する。今後、この訓練を各地区で広げていくことを計画しているため、模擬訓練に参加していただき、課題や参加者のニーズなどの調査分析、訓練の効果検証を行い、標準型の模擬訓練マニュアル作成への企画等の提案を期待したい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	地区社協、自治会、民児協、医療機関、介護事業者、商店や金融機関、配送業者など
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・会場及び担当者、参加者、参加人数等の情報提供 ・打合せを行うための会議室の提供 ・参加団体の紹介 ・団体との事前打ち合わせ会、意見交換会への参加

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	保健福祉長寿局 地域包括ケア推進本部
電話番号	054-221-1576
E-mail	chiikikea@city.shizuoka.lg.jp
29年度担当者	繁竹 三千代

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	静岡市		優先順位	3
課題タイトル	地域デザイン手法を活用した静岡市における安全・安心なまちづくりの研究 ～学・官・民 連携した耐震化対策事業の推進手法の構築～			

課題の概要(背景や理由等)	木造住宅の耐震対策事業は、平成14年度から実施している。16年をピークに、申請件数は右肩下がりになっており、26年度には補強工事97件まで落ち込んでいる。全国的にみても、住宅の耐震化が必要であることの認識は定着しているが、申請件数の減少に歯止めがかからない。古い木造住宅が多く残されている地区において火災が発生した場合、延焼し多くの被害をもたらしている。地震だけではなく、風水害や火災延焼を含めたリスク回避のための災害予測が求められている。AIを活用した技術が、交通事故を急激に減少させている中、衣食住の”住”への安全・安心の提案を求めたい。
希望する調査研究内容や期待すること	静岡市葵区城北地区、駿河区川原地区、清水区岡地区において、すでに整理されているリスト、マッピング済の住宅地図を活用し、対象住宅の聞き取り調査を行いたい(同行予定)。 地域デザイン手法、社会学における実践理論を活用し、地域で求められている減災対策、地域にふさわしい減災対策の提案を期待する。また、航空写真(消防ヘリの活用等)を活用し、延焼予測等、日常的な災害リスクへの対応検討も期待する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	静岡県建築士会、静岡大工建築業協同組合、静岡県、国土交通省、連合自治会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	対象地区の未耐震建築物リスト、同マッピング済住宅地図の提供。 平成30年度に予定している消防ヘリコプターを活用した上空調査結果の提供。

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	特になし	学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	静岡市 都市局 建築部 建築指導課 安全推進係
電話番号	054-221-1124
E-mail	kenchikushidou@city.shizuoka.lg.jp
29年度担当者	服部智一

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	静岡県		優先順位	1
課題タイトル	県内における女性の子育て世代の離職要因分析とその課題解決のための提案			

課題の概要(背景や理由等)	急速な少子高齢化による労働力不足や、多様な考えを取り入れ国際競争力を高めるため、国主導で女性活躍が推進されている。平成27年度の総務省の「労働力調査」によると、女性の非労働力人口2,887万人のうち、301万人が就業を希望しており、その活躍が必要不可欠とされている。 しかし、県内の現状としては、女性の労働力人口割合が全体としては全国と比べて高い水準なのにもかかわらず、子育て世代である20代後半から30代前半の割合が全国を下回っている。 子育て世代の離職に対し、離職要因等を把握し、継続就業や再就職に向けた取組を進める必要がある。 平成27年国勢調査(就業状態等基本集計) <table><tr><th></th><th>20～24</th><th>25～29</th><th>30～34</th><th>35～39</th><th>40～44</th><th>45～49</th><th>50～54</th><th>55～59</th><th>60～64</th><th>65歳以上</th></tr><tr><td>静岡女性(A)</td><td>75.1</td><td>80.2</td><td>71.8</td><td>73.4</td><td>78.8</td><td>81.6</td><td>80.1</td><td>73.6</td><td>57.0</td><td>18.9</td></tr><tr><td>全国女性(B)</td><td>69.5</td><td>81.4</td><td>73.5</td><td>72.7</td><td>76.0</td><td>77.9</td><td>76.2</td><td>69.4</td><td>52.1</td><td>16.7</td></tr><tr><td>A－B</td><td>5.6</td><td>▲ 1.2</td><td>▲ 1.7</td><td>0.7</td><td>2.8</td><td>3.7</td><td>3.9</td><td>4.2</td><td>4.9</td><td>2.2</td></tr></table>		20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳以上	静岡女性(A)	75.1	80.2	71.8	73.4	78.8	81.6	80.1	73.6	57.0	18.9	全国女性(B)	69.5	81.4	73.5	72.7	76.0	77.9	76.2	69.4	52.1	16.7	A－B	5.6	▲ 1.2	▲ 1.7	0.7	2.8	3.7	3.9	4.2	4.9	2.2
	20～24	25～29	30～34	35～39	40～44	45～49	50～54	55～59	60～64	65歳以上																																			
静岡女性(A)	75.1	80.2	71.8	73.4	78.8	81.6	80.1	73.6	57.0	18.9																																			
全国女性(B)	69.5	81.4	73.5	72.7	76.0	77.9	76.2	69.4	52.1	16.7																																			
A－B	5.6	▲ 1.2	▲ 1.7	0.7	2.8	3.7	3.9	4.2	4.9	2.2																																			
希望する調査研究内容や期待すること	県内女性の子育て世代の離職要因を、企業で働く子育て世代の女性への聞き取り等により調査分析し、課題解決のための要件整理をお願いしたい。また、若い世代から見た継続就労のために必要や情報や効果的な発信の方策等の提案をいただきたい。 県では、調査結果の内容を今後の継続就業のための施策展開に反映させ、実効性ある取組を進めていく。																																												
情報収集や意見交換等で連携する団体等	県内就労女性、企業・経済団体等																																												
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介)	会議室貸与、関連企業・団体の紹介																																												

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	男女共同参画課
電話番号	054-221-3122
E-mail	daniyo@pref.shizuoka.lg.jp
29年度担当者	呉羽 原和

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	静岡県		優先順位	2
課題タイトル	プロジェクト「TOUKAI-O」における耐震化を促進するための方策の研究			

課題の概要(背景や理由等)	平成13年度から木造住宅の耐震化を促進する取組としてプロジェクト「TOUKAI-O」を実施しているところであるが、現状の耐震化率としては82.4%(H25)であり、2020年(H32年)度末の耐震化率目標95%を達成するため、更なる取組強化が必要である。
希望する調査研究内容や期待すること	本県では、耐震化に向けた取組として、耐震診断、補強計画の策定(補強設計)、補強工事に対して助成し、また、戸別訪問やダイレクトメールなどの周知啓発活動を行っているものの診断の実施までで留まっているものが多く、補強工事実績としては、伸び悩んでいることから、県内35市町の状況を分析し、補強工事実施まで結びつける効果的な手法がないか研究していただきたい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	過去の耐震診断、補強設計、補強工事の実績のデータ提供

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	建築安全推進課
電話番号	054-221-3076
E-mail	kenchikuanzen@pref.shizuoka.lg.jp
29年度担当者	建築耐震班長 大石 高広

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	裾野市		優先順位	1
課題タイトル	VRを活用した深良用水隧道調査と文化・観光振興			

課題の概要(背景や理由等)	・世界灌漑遺産である深良用水の隧道は、隧道検査以外に入ることができないため、一般の人は体験できない ・2020年には、深良用水通水350年となり、新たな深良用水の発信が必要である ・近年、VR(バーチャル・リアリティ)が発展してきており、この技術を使って映像公開を深良用水特別展や深良用水まつりなど発信していきたい ・裾野市の歴史を語るに最も誇れるのが深良用水である。この深良用水を使いさらなる地域振興資源としていきたい
希望する調査研究内容や期待すること	・深良用水を止水する時に合わせて、隧道内を360度カメラにより撮影、撮影した動画をVR画像に編集し、スマホアプリにより再生できるようにする。映像技術・画像処理技術が必要とされる。完成した動画により、様々なシチュエーションで使用でき、観光や歴史文化、地域振興等で活用することができる。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・芦ノ湖水利組合、深良用水まつり実行委員会、深良地区区長会、裾野市文化審議会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・会議室の貸与、深良用水隧道調査日の調整、団体連携の紹介

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	沼津工業高等専門学校	学部等	電子制御学科
ゼミ・団体名 (担当教員)	沼津高専学生会 青木悠祐	連絡先 E-mail	055-921-2700 y.aoki@numazu-ct.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	商工観光課
電話番号	055-995-1825
E-mail	kankou@city.susono.shizuoka.jp
29年度担当者	飯塚正樹

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	小山町		優先順位	
課題タイトル	金太郎を活用した町の宣伝方法について			

課題の概要(背景や理由等)	小山町は金太郎生誕の地であり、金太郎ゆかりのスポットが数多く残されています。町では金太郎をシンボルとして様々な場面でPRしており、金太郎のシンボルデザインを公共の出版物や金太郎に関連する商品、報道映像のバックパネル等への掲出により、観光のアンテナとして活用しています。 また、小山町観光振興計画アクションプラン内でも金太郎をシンボルとした観光の活性化を図るため、目標を掲げ様々な取り組みを行っております。しかし、「金太郎生誕の地 おやま」という知名度は未だ低い状況にあります。
希望する調査研究内容や期待すること	多くの人に「金太郎生誕の地おやま」を認知してもらうための、金太郎の効果的な活用方法についての調査、研究。 (金太郎を活用した町のPRには何が足りないのか。どうしたらより多くの人に周知してもらえるか等)
情報収集や意見交換等で連携する団体等	小山町DMO準備室 小山町観光協会 小山町商工会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	資料の提供 情報の提供 現地案内 関係団体の紹介

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	日本大学	学部等	短期大学部 ビジネス教養学科
ゼミ・団体名 (担当教員)	大久保 あかね	連絡先 E-mail	055-980-084 okubo.akane@nihon-u.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	小山町役場 商工観光課
電話番号	0550-76-6114
E-mail	kankou@fujii-oyama.jp
29年度担当者	

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	三島市		優先順位	1
課題タイトル	学校・家庭・地域連携協力推進事業への大学生参画の促進について			

課題の概要(背景や理由等)	現在、地域ぐるみでの子どもの教育が重視され、学校、家庭及び地域が連携協力して行う学校支援地域本部事業等が各地で実施されている。このうちの“地域”の力として、居住する住民だけでなくそこで日常的に活動している人々の存在が注目されているが、中でも地域にある大学の学生の存在は貴重である。 児童・生徒にとって大学生は年齢が近く、お兄さん・お姉さんの魅力があって親近感を持ちやすく、大学生との交流には新たな教育効果も期待できる。そして、大学生にも本格的に社会人となる前の社会参画の場が提供できる。 また、小学校でも外国語教育が行われ、東京オリンピック等の開催も近づく現在、社会教育の分野でもグローバルな視点を持つ人材の育成や国際文化や各国言語に関する内容の教育支援活動が期待されている。 このため、国際関係について学び、自ら国際文化に関する活動を行っている大学生がその活動をもって学校・家庭・地域連携協力推進事業に参加し、活躍できる可能性や課題を探りたい。
希望する調査研究内容や期待すること	・大学生の活動内容と小中学校支援活動等とのマッチング ・大学生の地域(小中学校)での外国言語・文化に関する実践活動の実施 ・子どもがより興味を持ってくれそうな内容、活動方法(イベント)等の検証 ・学校現場での実践活動の課題と効果(大学生と児童生徒双方への影響)の検証 ・大学生(大学)、学校及び地域(学校支援地域本部)各々の満足度と負担感の調査 ※本調査実施後の大学生の学校・家庭・地域連携協力推進事業への参加継続[期待]
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・日本大学国際関係学部(非公認団体COMPIS) ・各小中学校及び各学校支援地域本部 ・学校教育課
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・市民生涯学習センター及び各公民館施設の使用 ・ゼミ等が実施する行事やイベント等の小中学校(保護者を含む。)への周知

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	日本大学	学部等	国際関係学部
ゼミ・団体名 (担当教員)	非公認団体COMPIS (担当教員 助教 松浦 康世)	連絡先 E-mail	matsuura.michiyo@nihon-u.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	生涯学習課 女性青少年係
電話番号	055-983-0883
E-mail	svougai@city.mishima.shizuoka.jp
29年度担当者	佐藤倫彦、山本陽子

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	三島市		優先順位	2
課題タイトル	学生の地域内定着促進に向けた三島市版若者地域就職活動モデルの確立			

課題の概要(背景や理由等)	・地域の将来には、①産業を支える中小事業者が産業力を高め、②将来の地域を担う若者が活躍すること、また、その好循環を形成し継続的に成長していくことが必要。 ・三島市においては、市内大学に通う多くの学生を地域に留めることが地域活性化のカギだが、多くが就職時に三島を離れている現状は、他の地方大学の例に漏れない。 ・東京一極集中の流れを食い止めるべく、就職を含め、学生が三島の地域生活に関心を持つしくみを整えるとともに、市内や近隣の若者を採用したい事業所と学生をマッチングしていく仕組みを構築していく必要がある。
希望する調査研究内容や期待すること	・学生対象に、就職や定住に関する意向調査を行い、学生のニーズを把握する。 ・市内中小事業者の若者雇用に係る課題調査を行い、学生と地域企業のマッチングの可能性を検討する。 ・三島に若者がとどまるきっかけの一つとして、三島市版の若者地域就職活動モデルを確立したい。(インターン、説明会、セミナー、事業者紹介、地域の社会人との交流等を通じ、三島の社会人の実態や、三島暮らしの豊かさなどを体験してもらう基盤を構築したい)
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・三島商工会議所 ・ハローワーク三島
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関係団体の紹介等)	・会議室の貸与 ・関係団体の紹介 ・メンターとなる市職員の派遣・同行 ・市長や企業トップとの対話の設定 ・経済産業省(中小企業庁)職員による講話の開催 ・その他、他地域の地方大学振興策をはじめとする各種情報提供

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	日本大学	学部等	短期大学部ビジネス教養学科
ゼミ・団体名 (担当教員)	大久保ゼミ (大久保あかね)	連絡先 E-mail	nichidai.okubosemi@gmail.com

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	企画戦略部政策企画課
電話番号	055-983-2698
E-mail	seisaku@city.mishima.shizuoka.jp
29年度担当者	土屋

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

自治体名	掛川市		優先順位	
課題タイトル	掛川市の三城にまつわる小中学生向け歴史講座の開講			

課題の概要(背景や理由等)	掛川市には掛川城、高天神城、横須賀城という今川・武田・徳川による合戦に関わる城(跡)が三箇所もある。掛川城主であった山内一豊は大河ドラマでも主人公として放映され、昨年大河ドラマ「おんな城主直虎」でも紹介され、「掛川三城ものがたり」として観光面においても三城をPRしている。歴史的背景のある郷土について、子供たちが見識を深め誇りを持てるようにしていきたい。
希望する調査研究内容や期待すること	歴史学者の小和田哲男氏は静岡市出身で静岡大学名誉教授であり、著書も多く、大河ドラマの時代考証も多数行っている。小和田氏の協力を得られれば、合戦に至る時代背景や関わった人間の人物像などがわかりやすく伝わるゼミになると思われる。講座を行い伝承する目的で、それを小中学生向けに、よりかみ砕いて伝達できるようにするためにどうすべきかを検討願いたい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	市役所関連課(社会教育課、学校教育課、文化振興課、観光交流課)
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	大須賀支所長
電話番号	0537-48-1000
E-mail	tshibata2@city.kakegawa.shizuoka.jp
29年度担当者	柴田忠義

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

自治体名	掛川市		優先順位	
課題タイトル	掛川手織葛布の継承に向けた若者からの提言			

課題の概要(背景や理由等)	掛川市の伝統工芸品である手織葛布(静岡県知事指定郷土工芸品)の生産は他産業の生産技術の進歩や社会構造の変化によって減少し、最盛期には40～50軒あった手織葛布商が、今では2軒となっている。伝統的な技術の継承が危ぶまれ、郷土工芸品の消滅に直面している状況を、若者目線の独自のアイデア・提案によって打開したい。若者が伝統工芸に興味を持つためには何が必要か、どうすれば良いかを検討したい。
希望する調査研究内容や期待すること	手織葛布を作る工程の経験や現在、葛布に関わっている団体との話し合いを通して、若い人にとって伝統工芸とはどのように感じるものなのか、どうすれば若い人にとって身近なものになるのかを調査研究してもらいたい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	掛川市 掛川手織葛布組合 一般社団法人 中東遠タスクフォースセンター 達人に学び伝える会(掛川市市民団体)
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	会議室の貸与 関連団体の紹介 その他、要望に応じて対応

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	環境経済部産業労働政策課 創業・労政係
電話番号	0537-21-1125
E-mail	sangyo@city.kakegawa.shizuoka.jp
29年度担当者	榛葉 貴博

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	伊豆市		優先順位	1
課題タイトル	“伊豆市の玄関口”にふさわしい修善寺駅の景観をプロデュース			

課題の概要(背景や理由等)	伊豆市の玄関口である修善寺駅は、平成26年にリニューアルされ、利便性等が向上したものの、「更に観光地としての風情が欲しい」という声も寄せられている。このことから、伊豆市の玄関口にふさわしい、まちの賑わいも含めた駅周辺の景観形成が必要と考えている。
希望する調査研究内容や期待すること	修善寺駅に降り立った時に、「伊豆にやってきた!」と感じることができるような“伊豆市の玄関口”にふさわしい景観形成に向け、修善寺駅周辺の問題点・課題点を調査し、企画の提案を行っていただきたい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	○伊豆市都市計画課 ○伊豆箱根鉄道 ○伊豆市観光協会 ○伊豆市商工会 ○伊豆市駅前区 ○(一社)伊豆市産業振興協議会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	○宿泊先の案内 ○会議室の貸与 ○関係団体との連絡・調整 ○報道機関へのプレスリリース

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	都市計画課 都市計画スタッフ
電話番号	0558-83-5206
E-mail	tosikei@city.izu.shizuoka.jp
29年度担当者	平井 正英

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	伊豆市		優先順位	2
課題タイトル	伊豆市の観光市場調査(マーケティング調査)			

課題の概要(背景や理由等)	伊豆市では、(一社)伊豆市産業振興協議会を発足し、観光プロモーションや産業振興に向けた施策を進めている。 こうした中、伊豆市を訪れる観光交流客数は横ばいから微増傾向にあるが、市内全体の更なる観光消費額向上に向け、観光客の消費単価や満足度、リピート率などといった観光客の実態把握に向けたマーケティング調査を実施したい。
希望する調査研究内容や期待すること	・実際に市内の各観光スポットを訪れ、満足度や消費単価、リピーター数などのマーケティング調査を実施 ・調査結果をもとにした学生目線からの市内各温泉地のプロモーション手法等の提案 ・その他、市内全体の観光消費額向上に向けた企画の提案
情報収集や意見交換等で連携する団体等	○伊豆市観光協会 ○伊豆市内の各旅館 ○伊豆市内の各観光施設 ○(一社)伊豆市産業振興協議会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	○宿泊先の案内 ○会議室の貸与 ○関係団体との連絡・調整 ○報道機関へのプレスリリース

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	観光商工課 (一社)伊豆市産業振興協議会
電話番号	0558-72-7007
E-mail	info@izucity-dmo.or.jp
29年度担当者	西川 大翔

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	伊豆市		優先順位	3
課題タイトル	遊休施設(天城会館)の地域活性化につながる有効活用リサーチ			

課題の概要(背景や理由等)	天城会館は、劇場ホールと日帰り温泉や、レストラン・売店等が共存する施設として、平成8年6月に運用が開始されました。平成21年に温泉事業を休止し、平成23年度からは指定管理制度を導入し、展示事業等を行いましたが、平成27年度をもって直営となり、ホール以外はほぼ倉庫として使用している現状です。このままでは、朽ちるインフラとして維持管理費の負担のみが増大することが懸念されます。 今後新たな民間公募を行いたいと考えています。そこで、市民サービスと地域活性化のための施設としての在り方を再度検討し、利用方法をアセットマネジメントも含めて見直しを考えていきたいと思ひます。
希望する調査研究内容や期待すること	民間等の経験や自由なアイデア、ノウハウを活かした天城会館の再活用・効率的な維持管理について広く可能性を調査研究していただき、できれば企画提案もしていただければと考えます。また、想定された事業のための事業化マーケットリサーチ(サウンディング型市場調査など)等を行っていただければ実施の根拠となると思ひます。 一般論としての、例えば包括的な管理委託の実施など、より効率的なインフラ管理の政策についての調査研究・提案も行っていただければと考えます。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	○伊豆市観光協会 ○伊豆市旅館組合 ○(一社)伊豆市産業振興協議会 ○伊豆半島ジオパーク推進協議会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	○施設に関する情報提供 ○宿泊先の案内 ○会議室の貸与 ○関係団体との連絡・調整

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	観光商工課 観光施設管理スタッフ
電話番号	0558-72-9911
E-mail	kanko-s@city.izu.shizuoka.jp
29年度担当者	渡辺 文和

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

市町名	伊豆の国市		優先順位	1
課題タイトル	伊豆長岡温泉の再生に向けた地域資源調査			

課題の概要(背景や理由等)	伊豆の国市の主要産業である伊豆長岡温泉については、中心地である温泉場通りに面して4軒の旅館が現在閉館中であり、再開の目途が立ちにくい状況である。 ただし、伊豆長岡温泉は市街化区域の中でも商業区域に指定されており、今後、人口縮小社会が進展していく中で伊豆の国市の中でも人口が集約されていく地域の一つであり、地域の人々が温泉とともに暮らし続けられる街をどのように維持していくかが求められている。
希望する調査研究内容や期待すること	既存の温泉街の課題、見落としている地域資源などを整理し、観光客と地域住民が共存共栄を図れるまちづくりに向けたアイデアを、若者の視点と、客観的なデータをもとに提示してもらいたい。 特に、伊豆長岡温泉との地域資源である芸妓や温泉場通り沿いで休館中の南山荘などの活用や、他周辺地域や施設との連携による活性化など、訪れる人、泊まる人、暮らす人など多様な人々が笑顔をもたらえる地域づくりに向けたきっかけとなる調査研究になることを期待する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・伊豆の国市観光協会 ・伊豆長岡温泉旅館協同組合 ・伊豆長岡温泉場通り振興会
ゼミに対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・フィールドワークのコーディネート ・会議室の貸与 ・関係団体の紹介

既に協議や調整を行っているゼミがあり、そのゼミを希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミが助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	日本大学	学部等	国際関係学部国際総合政策学科
ゼミ(担当教員)	宮川ゼミ(宮川幸司先生)	ゼミ連絡先 E-mail	Miyagawa.kouji@nihon-u.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	市長戦略部政策推進課政策推進係
電話番号	055-948-1413
E-mail	seisaku@city.izunokuni.shizuoka.jp
29年度担当者	江間萌香

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	藤枝市		優先順位	1
課題タイトル	蓮華寺池公園からの旧東海道商店街への誘客促進			

課題の概要(背景や理由等)	本市の蓮華寺池公園は、年間145万人が来訪する観光施設であり、平成27年12月に公園内に「スターバックスコーヒー藤枝蓮華寺池公園店」がオープンし、続いて、平成28年4月には子育て支援施設「れんげじスマイルホール」がオープンするなど、ますます人気が高まっている。 蓮華寺池公園のすぐ近くには、旧東海道藤枝宿の商店街が立地しているが、同公園の賑わいが商店街の誘客へのつながりに弱い。 市では、これまで、蓮華寺池公園周辺のランチマップの作成や今年度新たに、商店街まち歩きツアーを開催することで、誘客促進を図っている。 歴史・文化・神社仏閣など、多様な要素のある旧東海道商店街の活性化を図りたい。
希望する調査研究内容や期待すること	蓮華寺池公園から旧東海道商店街への誘客促進の提案や課題解決策等 ※次年度市が実施する「商店街まち歩きツアー」への提案や主体的参画は可能
情報収集や意見交換等で連携する団体等	旧東海道商店街や(一社)SACLABO、地域おこし協力隊(予定7月～)とは連携可能
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	連携する団体等との連絡調整や会議室の貸与

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	藤枝市産業振興部商業観光局商店街活性化推進室推進係
電話番号	054-643-3078
E-mail	sho-kan@city.fujieda.shizuoka.jp
29年度担当者	青嶋和徳・松浦洋平

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	藤枝市		優先順位	2
課題タイトル	大規模造成住宅団地における空き家の活用方法の提案			

課題の概要(背景や理由等)	過去(昭和中期頃)に大規模な住宅地造成事業を行った団地の建物が老朽化し、今後、人口減少等により空き家が増えると想定される。空き家の増加により、地域コミュニティの低下や空き家の維持管理が課題となる。
希望する調査研究内容や期待すること	・空き家の活用方法の提案(利活用・交流・イベント等) ・空き家の維持管理方法の提案
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・公益社団法人静岡県宅地建物取引業協会 ・公益社団法人全日本不動産協会静岡県本部 ・一般社団法人志太建築士会 ・静岡県司法書士会 ・静岡県土地家屋調査士会
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・関係団体の紹介

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	なし	学部等	なし
ゼミ・団体名(担当教員)	なし	連絡先 E-mail	なし

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	藤枝市都市建設部空き家対策室
電話番号	054-643-3481
E-mail	kenchiku@city.fujieda.shizuoka.jp
29年度担当者	石川大介

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	藤枝市		優先順位	3
課題タイトル	高齢者の運転免許証自主返納の推進と返納後の交通手段について			

課題の概要(背景や理由等)	藤枝市では「交通安全日本一の都市」の実現を目指して、様々な交通安全施策を展開しております。その中で、高齢者の交通事故防止対策の一環として、運転免許証を自主返納した65歳以上の市民の方に運転経歴証明書の発行手数料(1,000円)の助成を行っております。また、代替交通手段のひとつとして、有効期限1年間の藤枝市自主運行バス無料乗車券を交付しておりますが、藤枝市内の自主運行バスは路線も限られており、特に中山間地域は民間の路線バスの運行数も少なく、運転免許証返納後の交通手段の確保が大きな課題となっている。
希望する調査研究内容や期待すること	高齢者の運転免許証自主返納の効果的な推進策と返納後の交通手段の確保
情報収集や意見交換等で連携する団体等	運転免許証自主返納者数は藤枝警察署 運転免許証自主返納による運転経歴証明書の発行手数料助成数は交通安全対策室 藤枝市自主運行バスの無料乗車券の発行数は公共交通政策室
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	藤枝市市民文化部交通安全対策室
電話番号	054-631-5553
E-mail	koutsuanzen@city.fujieda.shizuoka.jp
29年度担当者	大塚浩充・寺田秀樹・杉田一樹

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	川根本町		優先順位	
課題タイトル	地域食材による食、土産品で町の魅力を創造する			

課題の概要(背景や理由等)	当町は、近年交流人口が増加傾向にあるとともに、飲食業を中心とした移住者による起業も増えています。その理由は、「寸又峡夢の吊橋や奥大井湖上駅といった絶景」の評価が高まっていることと考えます。一方で、地域食材を活用した食、土産品の展開が進んでいないことが課題として認識されています。 拡大している交流人口に対して魅力ある食や土産物を提供することができれば、当町の魅力が増幅し、経済効果が高まると考えます。
希望する調査研究内容や期待すること	・地域食材(素材)の洗い出し ・展開する地域事業者(協力する地域外事業者を含む)の洗い出し ・地域事業者と連携した食、土産品の開発と取扱いの実施 ・その過程、結果の情報発信(手段提案及び実践、地域事業者自身の取組み誘導)
情報収集や意見交換等で連携する団体等	川根本町商工会 川根本町まちづくり観光協会 (一社)エコティかわね 特定非営利活動法人かわね来風
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	会議室等の提供 地域食材提供候補者、地域商工事業者等の紹介

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	静岡大学	学部等	農学部
ゼミ・団体名 (担当教員)	農食コミュニティデザインコース (藤本稯彦准教授)	連絡先 E-mail	054-238-4866

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	観光商工課商工交流室
電話番号	0547-58-7077
E-mail	kanko-shoko@town.kawanehon.lg.jp
29年度担当者	商工交流室長 鈴木浩之

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	沼津市		優先順位	1
課題タイトル	若年層におけるアジのひものの消費拡大に向けたメニューの提案と活用法			

課題の概要(背景や理由等)	調理により、臭いや生ごみが生じることや、食の洋食化、多様化により、生産量が日本一とされる当市のアジのひものの消費量は激減し、それに伴い、水産加工業者の経営体数も減少、当市の水産業の衰退を招いている。
希望する調査研究内容や期待すること	食の多様化、洋食化している若年層(大学生)などが、ふだんの日常生活で消費がしやすいアジのひもののメニューの開発と、その提供方法、活用方法の模索
情報収集や意見交換等で連携する団体等	沼津ひものの会(沼津魚仲買商協同組合内) 住所:沼津市蛇松町32-3 電話:055-962-2882
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	関連団体の紹介

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	水産海浜課 水産海浜係
電話番号	055-934-4753
E-mail	suisan@city.numazu.lg.jp
29年度担当者	副主任 古谷 洋史

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	沼津市		優先順位	2
課題タイトル	沼津市内における中小企業のインターンシップ実施の実態に関する調査研究			

課題の概要(背景や理由等)	今や就職活動時のツールとしてインターンシップは欠かせないものとなっているが、市内中小企業の実施状況の詳細が不明である。インターンシップ実施企業へ市が可能な施策の研究に繋げたい。
希望する調査研究内容や期待すること	沼津商工会議所及び沼津市商工会に登録のある企業で、インターンシップを実施している企業について実施状況と内容を把握したい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	商工会議所・商工会等
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	会議室の貸与・関連団体の紹介

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	産業振興部 商工振興課 労働福祉係
電話番号	055-934-4749
E-mail	syouko@city.numazu.lg.jp
29年度担当者	主事 田嶋由貴

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	沼津市		優先順位	3
課題タイトル	大学生と創る 若者に子宮頸がん検診を受けてもらうための効果的な方策についての研究			

課題の概要(背景や理由等)	沼津市では20歳から子宮頸がん検診を受けることができます。しかし、20歳代の受診率は平成28年度6.6%と低い状態です。子宮頸がん検診は前がん状態の細胞を発見することができるため、検診を受けることでがんを予防・早期発見することができます。20～30歳代に多い子宮頸がん検診の受診率を上げることが課題です。
希望する調査研究内容や期待すること	若者目線で作成された、子宮頸がん検診を受けたいくなる媒体について(内容・キャッチコピー・挿絵・媒体種類・方法等) * 調査研究の結果を踏まえてH31年度4/9「子宮の日」に向けた取り組みを検討・実施したいです。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	なし
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	・H28～29年度に沼津市内専門学校で調査した子宮頸がん検診の知識についてのアンケート結果の提供 ・会議等に使用するスペースの借用 ・市子宮頸がん検診の受診率推移の提供

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	沼津市健康づくり課 検診予防係
電話番号	055-951-3480
E-mail	kenkou@city.numazu.lg.jp
29年度担当者	副主任健師 土屋 沙織

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	浜松市		優先順位	1
課題タイトル	浜松市天竜区佐久間町における地域づくりの方策の研究			

課題の概要(背景や理由等)	浜松の中山間地域である天竜区佐久間町は、浦川歌舞伎や川合花の舞を始めとした民俗芸能等の文化とともに、かつて、海の幸、山の幸を運ぶ「塩の道」となった甲州街道(秋葉街道)が通り栄えていたが、近年は高齢化率及び高齢者のみ世帯率ともに50%を超え、商店の閉店も進み、過疎地域特有の課題を抱えているところである。 この課題解決には、行政だけでは限界があり、若い人材や高度な知識を有する地域の大学の協力が必要不可欠である。 とりわけ、静岡文化芸術大学 文化政策学部 文化政策学科の船戸ゼミは、中山間地域の研究を専門に行っており、H25は春野地域、H26は龍山地域、H27は佐久間町山香・城西地区、H28は佐久間町佐久間地区、H29は佐久間町浦川地区においてフィールドワークを行い、浜松の中山間地域が抱える課題を調べ、調査報告会を通じて浜松市や地域住民へ課題のフィードバックをはじめ、課題解決に大いに寄与してきた。よって、引き続き佐久間町の調査を行っていただき、とくに次年度以降は、まだ佐久間町浦川地区における未着手の地域の調査をお願いしたい。 船戸ゼミによる年度を分けて実施している調査は、次年度から2年間、佐久間町浦川地区で行えば、佐久間町全域の調査が完了する。地域課題は、地域によって異なるため、全地域の調査を行うことに意義があり、次年度以降も継続して実施してもらいたい。
希望する調査研究内容や期待すること	進行する過疎化を食い止めるためには、地域の個性や資源を理解し、地域の住民が主体となって、地域の課題解決や地域おこし活動を行うことが非常に重要である。とりわけ、大学生等がその取り組みに携わることは、都会の若者に地域への理解を促すとともに、地域にとっても、若者が地域に来ることによって生まれる活気や気付きも生じる。 既に浜松の中山間地域について研究を進めている静岡文化芸術大学の船戸ゼミには、積極的に現場に入り、フィールドワークを通じて、地域住民や地元のNPOとともに、地域の課題解決に取り組み、佐久間地域の活性化に資する調査・研究を行っていただきたい。 特に、春野地域や龍山地域とは異なる佐久間地域の課題の特性や、“歴史と民話の郷”と呼ばれる佐久間地域の豊富な伝統文化についても、研究対象として、新たな北遠地域の可能性が浮かび上がることを期待している。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・浜松市佐久間協働センター ・佐久間地区自治会連合会 ・浜松山里いきいき応援隊 ・地域づくり団体(地域のNPO法人等) など
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	市の市民協働・地域政策課や佐久間協働センターが、静岡文化芸術大学の船戸ゼミと佐久間の自治会や地域づくり団体(NPO法人など)との橋渡しを行うとともに、フィールドワークを行うにあたり、市民協働・地域政策課および佐久間協働センター職員、また市が委嘱する浜松山里いきいき応援隊が適宜サポートをすることで、円滑に調査・研究が行われるよう支援する。 また、必要に応じ、協働センターの会議スペース等を無償貸与する。

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学	静岡文化芸術大学	学部等	文化政策学部
ゼミ・団体名(担当教員)	船戸修一	連絡先 E-mail	s-funa@suac.ac.jp

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	市民部 市民協働・地域政策課 中山間地域グループ
電話番号	053-457-2243
E-mail	shiminkvodo@city.hamamatsu.shizuoka.jp
29年度担当者	山下 貴帆

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	富士市		優先順位	
課題タイトル	リノベーションによる特色や魅力ある「まちなか」のエリアマネジメントに向けて ～地域が求める商店街とは～			

課題の概要(背景や理由等)	現在、富士市の中心市街地(まちなか)である富士と吉原の商店街では、空きビル・空き店舗が点在する中、官民連携のもと、リノベーションを中心とする賑わいの再生を図る取り組みや仕組みづくりを進めている。 賑わいを再生するにあたり、経済や人が循環するまちづくりを行うためには、まちなかのエリア価値と民間投資の向上に取り組む必要がある。
希望する調査研究内容や期待すること	リノベーションによる特色や魅力あるまちなかのエリアマネジメントに向けて、点在する空きビル・空き店舗を活用する際の地域(市民、商店街、不動産オーナー)のニーズ調査やマッチングを行う。 そして今後、まちなかに新規事業者を呼び込むにあたり、「行きたい」・「来てほしい」、と地域が求める商店街となる業態の仕組みづくりや可能性を探る。 本調査研究により、リノベーションによる空きビル・空き店舗を活用した賑わいの再生に向けたヒントや足がかりとしたい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	・富士山まちづくり株式会社 ・吉原商店街振興組合 ・富士本町商店街振興組合 ・富士TMO(富士商工会議所)
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	関連団体の紹介等

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	商業労政課 商業担当
電話番号	0545-55-2907
E-mail	sy-syougyou@div.city.fuji.shizuoka.jp
29年度担当者	中田

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	富士市		優先順位	
課題タイトル	道の駅富士の活性化策			

課題の概要(背景や理由等)	道の駅富士は、国道1号バイパス新富士川橋の東に位置する、静岡県で最初に誕生した道の駅である。平成28年度から富士市が施設の運営管理を行うこととなったが、取組としては、既存テナントの運営と、農産物の販売や露店の出店程度に留まっている。平成29年度には、トイレのリニューアル、バス専用を含む駐車場の整備、売店の施設改修など、ハード面での受入環境の整備が進んでいることから、今後、ソフト面での受入環境の整備が課題であると考えている。
希望する調査研究内容や期待すること	①道の駅富士での利用者調査 ②平成29年度に市が実施した利用者調査結果等を踏まえた、「道の駅富士活性化策」の提言
情報収集や意見交換等で連携する団体等	特になし
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	富士市が過去に実施した利用者アンケート結果の提供

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	富士山・観光課
電話番号	0545-55-2777
E-mail	sy-fujisankankou@div.city.fuji.shizuoka.jp
29年度担当者	堀 由季子

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	富士市		優先順位	
課題タイトル	講座を通じた青少年の社会参画への仕組み作り			

課題の概要(背景や理由等)	当市の青少年教育センターでは、青少年の社会参画を最終目標として、英会話やバスケットなどの青年教養講座を主催している。 講座生にボランティア活動を促すことをしているが、更なる仕組み作りを模索しているため、大学生の意見を聞き、調査を依頼したい。
希望する調査研究内容や期待すること	青少年(39才以下高校生以上)を最終的に社会参画へ繋がるため、きっかけとなるボランティア活動の仕組みについて調査研究を依頼したい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	青年教養講座生で組織する、青少年教育センター利用会や、子ども会、ボーイスカウト、ガールスカウトなどの青少年健全育成団体など
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	青少年教育センター会議室の貸与、上記青少年健全育成団体の紹介等

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	教育委員会 社会教育課
電話番号	0545-55-0560
E-mail	ky-syakaikyoku@div.city.fuji.shizuoka.jp
29年度担当者	増田

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

第一次締切2月9日(金)、第二次締切3月2日(金)

自治体名	沼津市		優先順位	4
課題タイトル	物産振興イベントのブランド化と地域への波及効果の分析			

課題の概要(背景や理由等)	平成24年度(2012年度)より毎年9月上旬に開催している、沼津市の物産振興イベントである「沼津自慢フェスタ」の、ブランド性の確立と、当イベントがもたらす経済、人の流れ、物産品の知名度向上などの影響力について調査・分析を行う。
希望する調査研究内容や期待すること	イベント来場者や出展店舗に対する聞き取り調査を行い、沼津市物産品の知名度、来場者の動向、イベントが地元に与える影響等についての調査。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	沼津自慢フェスタ実行委員会、沼津市役所商工振興課
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	商工振興課 商工係
電話番号	055-934-4748
E-mail	syouko@city.numazu.lg.jp
29年度担当者	主事 國澤 賢太郎

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

団体名	株式会社クレディセゾン 東海支社		優先順位	
課題タイトル	東京オリンピック・パラリンピックのホストタウン推進に向けた課題を調査研究			

課題の概要(背景や理由等)	2020年東京オリンピック・パラリンピックの開催により、多くの選手や観光客が訪れ、ホストタウンとして手をあげている自治体がいくつかある。そのホストタウンを契機に地域の活性化を図るべく今後の推進に向け、どのような課題があり、どのような取り組みが必要なのかを洗い出す必要がある。特に外国人が訪日した際の困りごとの35%は決済環境が整っていないこともあげられる。
希望する調査研究内容や期待すること	ホストタウンとしてあげている自治体の現地の現状を調査し、ホストタウンとして必要な要素(宿泊施設、観光地、飲食店、決済環境など)と現状のかい離を課題として考察し、今後ホストタウンとして必要な取り組みを全国のホストタウン候補地の事例も参考にしながらの提案を期待する。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	クレディセゾン、随時
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	関連団体の紹介、当社社員のゼミへの訪問、関連資料の提供 等

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	営業一課4係
電話番号	054-251-3381
E-mail	nishiwaki3273@cs.saisoncard.co.jp
29年度担当者	西脇 裕訓

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

団体名	株式会社クレディセゾン 東海支社		優先順位	
課題タイトル	地元の若者のアイデアを事業として創業支援する活動の提案			

課題の概要(背景や理由等)	最近中国では、ライブ動画配信サービスにおいて、リアルタイム動画でつながっている相手の有料アイテムを購入すればその料金が相手にいく(いわゆる投げ銭)サービスや、日本でもTwitter上で仮想通貨を投げ銭として相手に送る仕組みも出てきている。そこで、若者が地域に根差し、地域で創業するための支援を自治体や金融機関だけでなく、地元住民なども支援に参加できる仕組みを考えたい。
希望する調査研究内容や期待すること	全国や静岡で行われている若者向け支援活動事例を調査、その他どういった支援の形が望ましいか、地域の若者のアイデアが活かされた事業の調査などを通じ、地元住民が支援できる仕組みを提案してほしい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	各自治体、金融機関、クレディセゾン、随時
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	関連団体の紹介、当社社員のゼミへの訪問、関連資料の提供 等

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	営業一課4係
電話番号	054-251-3381
E-mail	nishiwaki3273@cs.saisoncard.co.jp
29年度担当者	西脇 裕訓

県内大学ゼミに調査研究を希望する地域課題調査票

団体名	株式会社クレディセゾン 東海支社		優先順位	
課題タイトル	浜松市・磐田市における消費動向の調査とキャッシュレス社会に向けた若年層への提言			

課題の概要(背景や理由等)	浜松・磐田には当社提携企業もあり、多くの会員が存在する。また、多くの定住外国人、その二世帯も地域柄おり、多文化が共生する地域である。これから訪れるラグビーワールドカップ、東京オリンピック・パラリンピックにおいては、開催地の近隣エリアであり、ホストタウンでりと訪日外国人が訪れる機運が高まっており、地域活性化が期待される。合わせてキャッシュレス化は加速していくものと思われる。
希望する調査研究内容や期待すること	その地域における消費の動向を調査すること、また若年層のクレジットカードに対する意識や利用調査を実施。キャッシュレス化に向けた若年層に対する課題を提起し、当社へ提案を行ってほしい。
情報収集や意見交換等で連携する団体等	クレディセゾン、当社提携企業、随時
ゼミ等に対して可能な支援(会議室の貸与、関連団体の紹介等)	関連団体の紹介、当社社員のゼミへの訪問、関連資料の提供 等

既に協議や調整を行っているゼミ等があり、そのゼミ等を希望する場合に記載してください。
(ただし、そのゼミ等が助成対象として採択されるかはわかりません)

大学		学部等	
ゼミ・団体名 (担当教員)		連絡先 E-mail	

連絡先(課題内容を照会することがあります)

所属(課、係)	営業一課4係
電話番号	054-251-3381
E-mail	nishiwaki3273@cs.saisoncard.co.jp
29年度担当者	西脇 裕訓